

## 令和8年度 社会教育委員 第1回定例会議の概要

1. 日時	令和8年5月15日(金) 15:00～17:25
2. 場所	市役所3階 302中会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】9名出席（西沢和彦委員欠席）</p> <p>【市職員】蟹澤教育長、小岩こども・教育部長、湯原生涯学習課長、井尻生涯学習係長、宮坂社会教育指導員</p> <p>小田切文化課長、小野歴史文化財センター主幹、田中スポーツ課長、瀧澤人権・男女共同参画係長、小林稲荷山公民館業務係長、柳嶋上山田公民館業務主幹、澤上屋代公民館業務係長、轟戸倉公民館業務係長、宮崎更埴図書館業務係長</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（湯原課長）</li> <li>2 教育長あいさつ</li> <li>3 委嘱状交付</li> <li>4 委員自己紹介</li> <li>5 正副委員長選出</li> <li>6 会議事項（進行：小林京子委員長）             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会教育委員の会議・活動計画について（説明：井尻生涯学習係長）</li> <li>(2) 担当地域の確認・分担について（説明：井尻生涯学習係長）                 <p>担当地域は案のとおり了承。</p> <p>北信社教委連絡協議会理事・生涯学習推進本部員 小林京子委員 部落解放・人権政策確立要求千曲市実行委員 小林いせ子委員 子ども子育て会議委員 大谷委員 北信社会教育委員連絡協議会・活動情報誌執筆 大谷委員 育成センターだよりコラム執筆 丑丸委員</p> </li> <li>(3) 社会教育関連組織・予算について（説明：井尻生涯学習係長）</li> <li>(4) 令和7年度所管施設等の事業実施報告・令和8年度事業計画各所管施設より説明。                 <p>文化課 歴史文化財センター スポーツ課 人権・男女共同参画課 各公民館 千曲市公民館運営協議会 市立図書館 生涯学習係</p> </li> <li>(5) 家庭教育支援条例の取り組み状況について（説明：井尻生涯学習係長）</li> </ol> </li> </ol> <p>5 その他</p> <p>「もっとしりたいふるさと」配布について 公民館報に掲載したものを100号分まとめた冊子である。公民館で1冊1,500円で販売予定。</p> <li>6 閉会（小林いせ子副委員長）</li>

**【主な協議・意見・要望等】**

(○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁)

(3)(4)(5)に関すること

<文化課>

○寺澤委員

市ではハコモノを減らしたいということで、上山田文化会館も対象であるように聞いているが、上山田文化会館の維持やイベントの計画もよろしくお願いしたい。

▲小田切文化課長

上山田文化会館については、何も決まっていない。どう文化施設を生かしていくかについて、文化団体や市民にアンケートをとって広く意見を聞いて進めていく。ホワイエはいい場所であり、活用を考えていきたい。

<歴史文化財センター>

○丑丸委員

稲荷山街並み整備事業にある「鍵の手」とは。民間活力導入の可能性を探るサウンディング型市場調査を実施、とあるが、サウンディング型市場調査とは、どんな意味か。また、民間活力は導入されているのか。

▲小野主幹

道路がクランク状になっているところを「鍵の手」という。これについては、市で整備を進めていくが、その後管理運営をするには、市独自でやるよりも民間の事業者運営してもらった方が、スムーズに運営できるので、事業者からの提案をもとに、可能性を探っている。6社から応募があり、5社から提案があった。

○丑丸委員

「松田邸」に見学に行ったが、学芸員さんがわかりやすく説明してくれた。環境もよかった。資料も重要なものがあり、もっと宣伝して多くの人に見てもらいたい。

○小林いせ子副委員長

公民館報の6月号に中島学芸員の執筆による「羽柴千句」を掲載予定。企画展について記載があったが、企画展の時期は？

▲小野主幹

企画展の時期は未定である。松田邸では、七夕や着物イベント、茶会などを行っており、その都度発信しているので、来館してほしい。

<人権男女共同参画課>

○丑丸委員

小学校での読み聞かせについては、どんな本を読み聞かせたのか、また子どもたちの反応はどうだったか。

▲蟹澤教育長（前人権ふれあいセンター所長）

1～6年の学年に応じて行っている。1年に3校ずつで3年間で全小学校を廻る計画である。子どもたちはとてもよく聞いている。本の選定は、元職員の山崎さんが行った。人権に関わる本を選んでいく。

○堀口委員

地区の人権教育については義務付けられている。しかたなしにやっているムードであるが、人権センターは見に行っているのか。地区の人権教育になるように指導をしてもらいたい。

<公民館>

○堀口委員

公民館の講座は、シニアの居場所づくりとしてシニア向けのものを作ってほしい。

▲澤上屋代公民館係長

たとえば屋代公民館であれば、「ゆうゆう学級」は高齢者向けのものである。

○小林いせ子委員

資料について、同じ様式にしてもらおうと読みやすい。

○宮坂社会教育指導員

資料に人数の記載があり、様子がわかってくるように感じる。具体的に、資料の価値が上がったと思う。

<生涯学習係>

○丑丸委員

「新子どもプラン推進事業」の放課後子ども教室は、県からの補助もあって、続いているのか。

▲井尻係長

令和5年度までは国と県から補助金交付があったが、令和6年度からは、補助金の交付の対象とならないため、市の単独事業として行っている。